

各種委員会報告

I. 学術集会

1. 学術委員会

委員長 中 村 雅 史

1. 定期学術集会について

- 1) 定期学術集会のプログラムは、会頭がプログラム委員会を設置した上で検討を行い、さらに本委員会でも継続的に扱うテーマや分野毎のバランスなどを考慮した上で、第124回の特別企画や上級演題のテーマの最終確認を行った。
- 2) プログラムの検討にあたっては、サブスペシャルティ学会とのテーマの重複を避けるため、第122回以降、サブスペシャルティ学会からテーマに関する要望やプログラム委員の推薦を事前に募集し、参考の上、検討を行っている。第124回でも同様に、サブスペシャルティ学会からプログラム委員の推薦を募り、検討を行った。
- 3) 学術集会の今後のあり方として、演題の採用率や会場の聴講者数の増加などにおいても検討している。

2. 学術集会の在り方について

平成30年度より活動していた将来計画委員会内の「学術集会の在り方ワーキンググループ」の課題は、本委員会が引き継いで取り組むこととなった。今後も各学会との調整を進めながら、検討を進める予定である。

3. オンライン抄録について

第115回定期学術集会より本会雑誌としての「抄録集」が廃止になり、現状では回ごとにオンライン抄録をホームページで公開している。本会のホームページに過去の抄録を一度に検索できるようオンライン抄録専用のページを作成中である。

4. 各種賞の推薦について

平成24年度から文化財団や科学財団などから各種賞の候補推薦が依頼された場合には、本委員会にて募集し、選定を行っている。

本会から推薦した会員が以下のとおり「第31回日本医学会総会奨励賞」の受賞が決定した。

【第31回日本医学会総会奨励賞 外科系部門】

今岡 祐輝正会員（広島大学大学院医系科学研究科消化器・移植外科学）

研究題目「動脈硬化が外科手術成績および肝臓内抗腫瘍免疫に与える悪影響の解明」